

会 報

日本ヒューマン・ケア心理学会 第21回総会 議事録

日時：2019年6月16日(日)12:10～12:40
 場所：桜美林大学四谷キャンパス 1階ホール
 議長：中込さと子理事
 書記：小田原短期大学 奥田訓子会員

開会

開会の宣言と議長指名 議長より開会が宣言され、書記に小田原短期大学 奥田訓子会員が指名された。

会長挨拶

遠藤公久会長より挨拶があった。

歓迎の辞

長田第21回大会委員長より歓迎の挨拶が述べられた。

審議事項

1. 2018年度事業報告について(資料1)

片山事務局長から資料に基づき説明があった。

2. 2018年度決算について(資料2)

梅村事務局次長より資料に基づき説明があった。「雑費」と「予備費」の区分について理事会で質問があり、支払い種目に関しては確認したのち、「雑費」の科目が不要である場合には削除するという対応をすること、正式な決算書については学会機関紙で報告するとの回答があった。

審議事項1, 2について承認された。

3. 2018年度会計監査報告について(資料3)

田中監事より島井・田中監事によって監査が行われた結果、学会会計が適正に執行されている

ることを確認した旨、報告された。

4. 2019年度事業計画について(資料4)

片山事務局長より、昨年承認された事業計画に基づいて実施されている旨の説明があった。

5. 2019年度修正予算に関する件(資料5)

梅村事務局次長より、2019年度予算に対して修正予算として、役員選挙のための通信費とパソコン購入のため消耗品費が増額されたことが説明された。なお、雑費については予備費に含めてよいかを確認した上で修正する可能性があることが説明され、これを前提として修正予算は承認された。

審議事項4, 5について承認された。

6. 2020年度事業計画案について(資料6)

資料に基づき事務局、広報、編集、研修、学術各担当理事から説明があった。

7. 2020年度予算に関する件(資料7)

梅村事務局次長より、資料に基づき予算案の説明があった。

審議事項6, 7について承認された。

8. 学術集会第22回大会について

山崎第22回大会委員長より、次回大会は「ヒューマン・ケアから考える幸せ」というテーマで、広島国際大学呉キャンパスで行われることが説明された。

会 報

報告事項

1. 日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成について(資料8)

清水学術担当理事より、資料に基づき2018年度の終了報告と2019年度の採択報告が行われた。

2. 第8期役員選挙について(資料9)

遠藤会長より第8期役員選挙が行われること、選挙管理委員長は、羽鳥理事となったことが報告された。

羽鳥理事より、石村会員と梅村会員が選挙管理委員となること、役員選挙の日程が資料の通りであることが報告された。

3. 第4回学会論文賞審査について

遠藤会長より、第4回学会論文賞審査委員長が安保理事に決定したことが報告された。

4. その他

片山事務局長より、著作権が本学会に帰属する著作物について、会員から転載許可の申し出があったことに関連して、「転載許可証」の作成及び内規が定められたことの報告があった。必要な場合は事務局、編集委員会へ問い合わせしてほしい旨の報告があった。

閉会

議長から閉会が宣言された。

会 報

資料1

2018年度 事業報告	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営のための会議開催と報告：総会, 理事会, 常任理事会の開催と会報の作成 ・ 入退会者への対応：入会予備審査, 入退会の手続き ・ 会員情報の管理：会員数, 個人情報の更新並びに管理, 会費納入状況等 ・ 会計：予算の作成, 決算, 監査事務等 ・ 渉外事務 ・ 著作権管理 ・ 研究助成事務
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「HC ニュースレター」No.20 (2019年3月発行) ・ 広報事務局 学会広報メール保守・管理 ・ 学会誌・ニュースレター Web 掲載 ・ 第20回大会情報の Web 掲載 ・ 学会機関紙事務局情報の Web 掲載 ・ 学会ホームページの充実化(会員への最新情報提供等) ・ 学会論文リストの作成, Web 公開 ・ 電子投稿システムの構築とオープンアクセス化の検討(編集との協働計画)
編 集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ヒューマン・ケア研究」第19巻第1号(2019年1月発行) <li style="padding-left: 40px;">第19巻第2号(2019年3月発行) ・ 電子投稿システムの構築とオープンアクセス化の検討(広報との協働計画)
研 修	<p>研修会テーマ「『児童虐待』の対応に役立つ解決志向・入門編」</p> <p>日 時：2018年6月24日(日)</p> <p>場 所：京都橘大学</p> <p>講 師：宮井 研治 先生</p>
学 術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術集会第20回大会(日本健康心理学会第31回大会との合同開催) <li style="padding-left: 20px;">日 程：2018年6月23日(土)・24日(日) <li style="padding-left: 20px;">場 所：京都橘大学 <li style="padding-left: 20px;">大会委員長：京都橘大学健康科学部 菅 佐和子 ・ 研究助成に関する企画及び実施

会 報

資料2-1

2018(平成30)年度 決算書

収支計算書

自 2018年4月 1日
至 2019年3月31日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差異(△減)	備 考
収入の部				
会費収入				
入会金	90,000	63,000	27,000	3,000円×21名
2018年度会費	1,750,000	1,358,000	392,000	7,000円×194名
過年度会費	140,000	154,000	△14,000	7,000円×22名
事業収入				
雑誌売り上げ	60,000	77,000	△17,000	
雑収入				
別刷代	60,000	0	60,000	
その他の寄付金	0	279,066	△279,066	第20回大会委員会からの寄付
受取利息	400	16	384	
当期収入計(A)	2,100,400	1,931,082	169,318	
前期繰越収支差額	1,663,586	2,701,071	△1,037,485	
収入合計(B)	3,763,986	4,632,153	△868,167	
支出の部				
事業費				
機関誌発行費	600,000	582,012	17,988	機関誌 Vol.19(1)(2)
大会援助金	300,000	300,000	0	第21回大会援助金
広報費	135,000	48,600	86,400	ニューズレター, HP 保守
学会論文賞副賞	0	0	0	3年に1回, 次回は2020年
研究助成	100,000	100,000	0	@100,000×1件
管理費				
通信費	180,000	100,226	79,774	郵便送料, 宅急便送料, メール便送料, スピーバドメイン・更新料
会議費	50,000	7,311	42,689	理事会・監査会議
旅費交通費	300,000	224,960	75,040	常任理事・監査旅費
消耗品費	100,000	30,458	69,542	学会封筒, ラベル印刷等
事務局費	200,000	146,605	53,395	人件費
編集事務費	50,000	32,220	17,780	人件費
支払手数料	10,000	4,716	5,284	振替手数料, 残高証明書等
雑費	0	16,200	△16,200	岡堂先生 供花
予備費	300,000	0	300,000	
当期支出計(C)	2,325,000	1,593,308	731,692	
当期収支差額(A)-(C)	△224,600	337,774	△562,374	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,438,986	3,038,845	△1,599,859	

会 報

資料2-2

貸 借 対 照 表

2019年3月31日現在

資産の部

科 目	金額
現金	0
振替貯金	1,973,468
普通貯金	1,091,237
資産合計	3,064,705

負債及び正味財産の部

科 目	金額
前受金	7,000
未払金	18,860
次期繰越金	3,038,845
負債及び正味財産合計	3,064,705

日本ヒューマン・ケア心理学会
2018年度会計監査報告書

日本ヒューマン・ケア心理学会
会長 遠藤 公久 殿

監事は、日本ヒューマン・ケア心理学会会則の第10条の規定に基づき、日本ヒューマン・ケア心理学会の2018年4月1日から2019年3月31日までの第20期会計年度の決算書類、即ち、貸借対照表および収支計算書についての監査を行いました。

結果、貸借対照表および収支計算書は法令および会則に従い、学会の財産および収支の状況を正しく示しているものと認め、また、学会の会計は適正に執行されていることを確認し、ここにご報告申し上げます。

2019年6月8日

日本ヒューマン・ケア心理学会

監事 島井哲志 

監事 中村恵子 

2019年度 事業計画	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営のための会議開催と報告：総会，理事会，常任理事会の開催と会報の作成 ・ 入退会者への対応：入会予備審査，入退会の手続き ・ 会員情報の管理：会員数，個人情報の更新並びに管理，会費納入状況等 ・ 会計：予算の作成，決算，監査事務等 ・ 渉外事務 ・ 著作権管理 ・ 研究助成事務 ・ 役員選挙事務
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「HC ニュースレター」 No.21 (2020年3月発行予定) ・ 広報事務局 学会広報メール保守・管理 ・ 学会機関誌，ニュースレター Web 掲載 ・ 第21回大会／第21回大会・研修会情報の Web 掲載 ・ 学会事務局情報の Web 掲載 ・ 学会ホームページの充実化(会員への最新情報提供等) ・ 学会論文リストの作成，Web 公開 ・ 電子投稿システムの構築とオープンアクセス化の検討
編 集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ヒューマン・ケア研究」第20巻第1号(2019年7月発行予定) <li style="padding-left: 40px;">第20巻第2号(2020年1月発行予定) ・ 電子投稿システムの構築とオープンアクセス化の検討
研 修	<p>研修会テーマ「解決志向のディスカッション手法を学ぶ」</p> <p>日 時：2019年6月15日(土)</p> <p>場 所：桜美林大学四谷キャンパス</p> <p>講 師：鹿嶋 真弓 先生</p>
学 術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術集会第21回大会 <li style="padding-left: 20px;">日 程：2019年6月16日(日) <li style="padding-left: 20px;">場 所：桜美林大学四谷キャンパス <li style="padding-left: 20px;">大会委員長：桜美林大学大学院 長田 久雄 ・ 研究助成に関する実施・審査

会 報

資料5

2019(令和元)年度 修正予算書(案)

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日
(単位:円)

科 目	2019年度予算	修正予算案	増減	備 考
収入の部				
会費収入				
入会金	60,000	60,000	0	入会金3,000円×20名
年会費	1,750,000	1,750,000	0	年会費7,000円×250名分
過年度会費	140,000	140,000	0	年会費7,000円×20名
事業収入				
雑誌売り上げ	60,000	60,000	0	
雑収入				
別刷代	60,000	60,000	0	
寄付金	0	0	0	
利子	400	400	0	
当期収入計(A)	2,070,400	2,070,400	0	
前年度より繰越金	1,538,986	1,538,986	0	
収入合計(B)	3,609,386	3,609,386	0	
支出の部				
事業費				
機関誌発行費	550,000	550,000	0	機関誌Vol.20(1)(2)
大会援助金	300,000	300,000	0	第22回大会援助金
広報費	135,000	135,000	0	ニューズレター, HP保守
学会論文賞副賞	0	0	0	3年に1回, 2019年は予定なし
研究助成	100,000	100,000	0	@100,000×1件
管理費				
通信費	180,000	200,000	△ 20,000	郵便送料, 宅急便送料, メール便送料, スピードメイン・更新料
会議費	50,000	50,000	0	理事会・監査会議
旅費交通費	300,000	300,000	0	常任理事・監査旅費
消耗品費	100,000	250,000	△ 150,000	学会封筒, ラベル印刷等、事務局パソコン購入代金
事務局費	200,000	200,000	0	人件費
編集事務費	50,000	50,000	0	人件費
支払手数料	10,000	10,000	0	振替手数料, 残高証明書等
雑費	0	20,000	△ 20,000	
予備費	300,000	300,000	0	
当期支出計(C)	2,275,000	2,465,000	△ 190,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 204,600	△ 394,600	190,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,334,386	1,144,386	190,000	

2020年度 事業計画案	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営のための会議開催と報告：総会，理事会，常任理事会の開催と会報の作成 ・ 入退会者への対応：入会予備審査，入退会の手続き ・ 会員情報の管理：会員数，個人情報の更新並びに管理，会費納入状況等 ・ 会計：予算の作成，決算，監査事務等 ・ 渉外事務 ・ 著作権管理 ・ 研究助成事務 ・ 第4回学会論文賞関連事務
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「HC ニュースレター」 No.22 (2021年3月発行予定) ・ 学会広報メール保守・管理 ・ 学会機関誌，ニュースレター，大会・研修会情報，事務局情報の Web 掲載 ・ 学会論文リストの作成と Web 公開 ・ 学会ホームページの充実化(会員への最新情報提供等) ・ 電子投稿システムの構築とオープンアクセス化の検討
編 集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ヒューマン・ケア研究」第21巻第1号(2020年7月発行予定) 第21巻第2号(2021年1月発行予定) ・ 電子投稿システムの構築とオープンアクセス化の検討
研 修	<p>研修会テーマ「未定」</p> <p>日 時：2020年7月5日(日)</p> <p>場 所：広島国際大学呉キャンパス</p> <p>講 師：未定</p>
学 術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術集会第22回大会 日 程：2020年7月4日(土)～7月5日(日) 場 所：広島国際大学呉キャンパス 大会委員長：広島国際大学 山崎 登志子 ・ 研究助成に関する実施・審査

会 報

資料7

2020(令和2)年度 予算書(案)

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

(単位:円)

科 目	2019年 予算	予 算 案	増減	備 考
収入の部				
会費収入				
入会金	60,000	60,000	0	入会金3,000円×20名
年度会費	1,750,000	1,750,000	0	年会費7,000円×250名分
過年度会費	140,000	140,000	0	年会費7,000円×20名
事業収入				
雑誌売り上げ	60,000	60,000	0	
雑収入				
別刷代	60,000	60,000	0	
寄付金	0	0	0	
利子	400	400	0	
当期収入計(A)	2,070,400	2,070,400	0	
前年度より繰越金	1,538,986	1,334,386	204,600	2019年度予算における次期繰越収支差額
収入合計(B)	3,609,386	3,404,786	204,600	
支出の部				
事業費				
機関誌発行費	550,000	550,000	0	機関誌Vol.21(1)(2)
大会援助金	300,000	300,000	0	第23回大会援助金
広報費	135,000	<u>100,000</u>	35,000	ニューズレター、HP保守
学会論文賞副賞	0	<u>30,000</u>	△ 30,000	3年に1回
研究助成	100,000	100,000	0	@100,000×1件
管理費				
通信費	180,000	<u>130,000</u>	50,000	郵便送料、宅急便送料、メール便送料、スピーカー・ドメイン・更新料
会議費	50,000	50,000	0	理事会・監査会議
旅費交通費	300,000	300,000	0	常任理事・監査旅費
消耗品費	100,000	100,000	0	学会封筒、ラベル印刷等
事務局費	200,000	<u>250,000</u>	△ 50,000	人件費、事務局移転経費
編集事務費	50,000	50,000	0	人件費
支払手数料	10,000	10,000	0	振替手数料、残高証明書等
雑費	0	<u>20,000</u>	△ 20,000	
予備費	300,000	300,000	0	
当期支出計(C)	2,275,000	2,290,000	△ 15,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 204,600	△ 219,600	15,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,334,386	1,114,786	219,600	

日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成報告

日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成 (2018年度)

募集期間	2018年6月23日(土)～7月7日(土)(17:00必着)
応募件数	1件
審査委員会	学術委員会委員が担当(清水, 小玉, 菅, 中込各委員)
受給者	東北大学教育学研究科 千葉 柝作
採択額	10万円
会計管理者	東北大学教育学部教育学研究科 会計係 山内 浩
研究課題名	「日本語版 APNI 尺度の作成と, 妥当性と信頼性の検討」
研究期間	2018年8月15日～2019年3月5日
決算額	10万円
報告書	別添

日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成 (2019年度)

募集期間	2019年4月1日(月)～4月26日(金)(17:00必着)
応募件数	2件
審査委員会	学術委員会委員が担当(清水, 小玉, 菅, 中込各委員)
受給者	東京成徳大学応用心理学部 関谷 大輝(代表者)
採択額	10万円
会計管理者	東京成徳大学
研究課題名	「演じるスキルの向上を通じてケア従事者の支援スキルと職業的魅力を高める試み — “ポジティブな演技” の実現に寄与する演技方教育プログラムの作成を目指して —」
決算額	未了
進捗状況	現在, 研究実施中

以上

会 報

資料9

選挙広報

会員各位

日本ヒューマン・ケア心理学会
選挙管理委員長 羽鳥健司
(公印省略)

会則第10条およびに日本ヒューマン・ケア心理学会役員選挙規程に基づき、以下のように日本ヒューマン・ケア心理学会第8期役員選挙を実施いたします。

会則第10条

第10条 本会の事業を運営するために、正会員は次の役員を互選する。役員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

会長1名 会長は理事の互選により決定し、本会を代表し、会務を統括する。会長は、常任理事の内1名を副会長に指名できる。

常任理事若干名 理事の互選により決定し、通常会務を執行する。内1名は事務局長とする。

理事若干名 正会員の互選により決定し、本会を運営する。

監事2名 正会員の互選により決定し、本会の会計及び会務執行を監査する。

2 顧問を置くことができる。顧問は理事会の承認を得て会長が委嘱する。顧問の任期は 3年とする。ただし、再任を妨げない。

なお、選挙実施日程は、下記のとおりです。

選 挙 公 示**日本ヒューマン・ケア心理学会理事選挙日程について**

日本ヒューマン・ケア心理学会役員選挙規程第4条により、役員選挙実施日程を下記の通り公示します。
記

令和元年10月28日(月) 選挙日程の公示

11月 4日(月) 有権者名簿の誤記など異議申し立て^メ切
(学会ホームページで名簿をご確認の上^{※1}、選挙管理委員会事務局までメール^{※2}にてご連絡ください。)

11月 日() 有権者名簿、投票用紙などの送付

12月 2日(月) 投票締め切り(当日消印有効)

12月 8日(日) 開票・集計作業(日本赤十字看護大学)

3月中旬 選挙結果公示(NL 及び学会ホームページ)

以上

※1 名簿確認は以下をご利用ください。ID:***** PW:*****

※2 日本ヒューマン・ケア心理学会選挙管委員会事務局

Tel:048-294-1110 e-mail:HCSenkyo2019@gmail.com

会 報

第7期第4回理事会

議事録

期 日：2019年6月16日(日)9:00～10:00

場 所：桜美林大学四谷キャンパス「201号教室」

出席者：遠藤公久, 清水裕子, 木村登紀子, 羽鳥健司, 長田久雄, 中込さと子, 小玉正博, 山崎登志子, 石川 智, 関谷大輝, 大場良子, 中村恵子, 片山富美代, 梅村美代志
 欠席(委任状): 安保英勇, 伊藤まゆみ, 伊藤美奈子, 菅 佐和子, 三田村啓子, 佐居由美, 竹田眞理子

議 長：遠藤公久

書 記：片山富美代, 梅村美代志

開会に先立ち, 2018年6月23日に亡くなられた岡堂先生に黙祷がささげられた。

歓迎の辞(主催校)

大会主催者である長田久雄第21回大会委員長より挨拶があった。

会長挨拶

遠藤会長より開会の挨拶があった。

定足数確認

開会にあたり, 定足数の確認をおこなった。出席者は理事13名, 監事1名であり。理事7名のうち, 7名からの委任状の提出があり, よって理事会運営内規3条により定足数に達していることが確認された。

審議事項

1. 総会議長について

第20回大会長である菅理事が欠席のため第21回総会の議長について審議された。中込理事が推薦され, 本人の承諾のもと承認された。

2. 2018年度事業報告について

片山事務局長より, 資料に基づき報告があり, 承認された。

3. 2018年度決算について

梅村事務局次長より, 資料に基づいて報告された。支払い種目の「予備費」と「雑費」の用途区別が明確ではないとの意見があった。今後, 支払い種目について確認し, 「雑費」の科目が不要である場合は, 20,000円の支出減となることを条件に承認された。

4. 2018年度会計監査報告

中村監事より, 2019年6月8日会計監査が行われ, 日本ヒューマン・ケア心理学会会則の第10条の規定に基づき, 学会の会計は適正に執行されていることが確認されたとの報告があり, 承認された。

監査意見として, 少ない収入の中からの研究助成費であり, 学術活動としての費用対効果について意見があった。

5. 2019年度事業計画について

片山事務局長より資料に基づき報告され, 承認された。

6. 2019年度修正予算案について

梅村事務局次長より資料に基づいて説明があり, 「予備費」と「雑費」の科目の扱いについては, 2018年度決算に準じて対応することで承認された。

会 報

7. 2020年度事業計画案について

各担当理事より資料に基づいて説明があり、承認された。

8. 2020年度予算案について

梅村事務局次長より資料に基づいて説明があり、「予備費」と「雑費」の科目の扱いについては、2018年度決算に準じて対応することで承認された。

9. 第21回総会次第について

遠藤会長より、資料に基づいて確認され、承認された。

10. 学術集会第22回大会について

清水学術担当理事および山崎第22回大会準備委員長から説明が行われ、承認された。尚、近年梅雨の時期に広島県では2回の豪雨被害があり、そのような事態が起こった場合は、学術集会を取りやめることもあり得る旨の補足が行われ、了承された。

11. 第8期役員選挙について

遠藤会長より、選挙管理委員長に羽鳥理事、選挙管理委員は石村郁夫会員、梅村美代志理事が常任理事会において選出されたことが報告され、承認された。

羽鳥選挙管理委員長より、次期役員選挙の日程が以下のとおりとなることが説明され、承認された。

- ・選挙日程の公示(選挙公報),有権者名簿の公示: 2019年10月28日
- ・有権者名簿の異議申し立て締切:2019年11月4日(月)
- ・有権者名簿,投票用紙などの送付:2019年11月(未定:後日作業日を決定する)
- ・投票締め切り(当日消印有効):2019年12月2

日(月)

- ・開票・集計作業(日本赤十字看護大学):2019年12月8日(日)
- ・選挙結果公示(NL及び学会ホームページ):2020年3月中旬

12. 第4回学会論文賞審査について

遠藤会長より、常任理事会において審査委員長に安保理事が選出されたこと、安保審査委員長より審査委員会を小玉理事、清水理事、羽鳥理事、中込理事で組織する旨の連絡があったことが報告され、承認された。

報告事項

1. 日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成について

清水学術担当理事より、経理担当者研究助成費は、研究のための公金であり公平に審査を行い、研究用公金口座を確認することや申請書の内容の審査、決算書の受取までの過程を学術委員会で厳正に対処していくことが報告された。

2. 会員逝去に伴う学会の弔意に関する内規について(理事会資料12)

遠藤会長より資料に基づき報告された。

3. 日本ヒューマン・ケア心理学会転載許可願・許可証について

遠藤会長より、資料の載許可願・許可証が作成されたことが報告された。尚、転載許可証は、発行番号(通し番号)を追加し管理する。学会員には転載希望がある場合は個別対応をすることを周知する。

閉会

日本ヒューマン・ケア心理学会 会員逝去に伴う学会の弔意に関する内規

第1条(目的)

本内規は、長期にわたり本学会に貢献された(元)会員の逝去に伴い、学会としての弔意について規定することを目的とする。

第2条(弔慰対象者)

会員または元会員で死亡された場合には、次を弔慰の対象者とする。

1. 現役の会長
2. 会長経験者
3. 本学会に多大な貢献をされた方(名誉会員を含む)

第3条(弔慰金等)

学会として、弔電ならびに供花等(時価)をもって弔意を表する。

第4条(対象者ならびに弔慰金の変更)

対象者ならびに金額等は、事情に応じて常任理事会の協議により変更することができる。

附則

1. この内規は、2019年6月15日より施行する。

会 報

第7期 第9回常任理事会議事録

期 日：2018年10月13日(土) 15:00～16:40
場 所：日本赤十字看護大学 共同研究室1
出席者：遠藤公久, 木村登紀子, 清水裕子, 羽鳥健
司, 片山富美代, 梅村美代志

欠席者：安保英勇

議 長：遠藤公久

書 記：片山富美代, 梅村美代志

議事

1. 議事録の確認

第8回常任理事会議事録案は一部修正し、承認された。

2. 会員の異動について(遠藤会長)

入会者2名について承認された。現会員数257名である。

3. 審議事項

1) 研究助成の事務取扱について(片山事務局長)

事務取扱に関する手順等について承認された。今後の手続きの資料とするため、資料の名称を「日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成に関する事務取扱資料」とし、本年度の事例の記述を一部修正する。なお、助成金の名称は「日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成(年度)」と、統一することが決定した。

次年度研究助成の公募について、学術委員会で検討することとなった。

2) 2019年6月の研修会について(木村理事)

資料に基づき下記の件が報告された。
開催日時：2019年6月15日(土曜日) 14時～16時
開催場所：日本赤十字看護大学(広尾)503教室 or
603教室(教室の確保済)
講師：鹿嶋真弓氏

研修会テーマ：(仮)問題解決型ディスカッション
技法

委員会は、出席者名簿作成、研修会修了書等の準備、研修会申し込み・広報については、大会事務局と連携を図り進めていくことが確認された。

4. 報告事項

1) 会長・事務局

- ・東北大学より誓約書が送付され、研究助成金が振込まれたことが報告された。
- ・会議方法について、今回の会議から購入したプロジェクター、マイクを活用し、常任理事会 paperless 化に取り組んでいくことが報告された。

2) 学術(清水理事)

・第21回大会のプログラム(案)は配布資料から修正され、以下の通りで報告され了承された。大会会期は6月15日～16日の二日間で初日は学会本部主催(所掌は研修委員会)、2日目は大会準備委員会が主催する。よって、第21回大会は学会本部・第21回大会準備委員会合同開催となる。

第1日目 6月15日(土曜日)

14:00 - 16:00 研修会(講師は日帰りを予定)

会場：日本赤十字看護大学(広尾)503ないしは
603号室

講師：鹿嶋真弓先生(高知大学教育学部 教授)

研修テーマ：(仮)問題解決型ディスカッション
手法

第2日目 6月16日(日曜日)

9:00 - 10:00 理事会

10:00 - 11:00 基調講演

順天堂大学ペインクリニック講座教授 井関雅
子先生

11:00 - 12:30 大会企画シンポジウム テー
マ「痛み」

会 報

企画・司会：長田久雄

痛みの基礎：順天堂大学ペインクリニック講座
教授 井関雅子先生

痛みの心理臨床の実際：順天堂大学心理士 村
上安壽子先生

応用行動分析学からの痛みへの approach：星
槿大学教授 杉山尚子先生

12:30 - 13:30 総会

13:30 ~ 発表(口頭発表, ポスター発表)

委員会もしくは会員企画シンポジウム

17:30 ~ 懇親会(千駄ヶ谷近隣)・表彰

- ・大会事務局のスタッフについて、会員以外の4名の担当を長田準備委員長から報告されたことの説明があり、会員以外の支援を得ることについて了承された。
- ・日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成(2019年度)の公募記事を日本ヒューマン・ケア研究に、掲載することが提案され、承認された。

3) 研修(木村理事)

- ・次回の研修会の準備を引き続き進めていくことが報告された。会議の席上、研修準備に関する所掌について質問があり、急遽、学術委員長・研修委員長から長田大会準備委員長へ架電による確認が行われた。結果、研修の申し込み・振り込み・広報は大会準備委員会が担当することが確認された。具体的な手順や依頼は、大会準備事務局と情報交換を願いたい旨の要請があり、研修委員長が了承された。

4) 編集(安保理事 代遠藤会長)

- ・配布資料をもとにヒューマン・ケア研究19(1)の編集状況と掲載内容(予定)が報告された。
- ・ヒューマン・ケア研究第19(2)に掲載予定である、追悼記事ならびに、岡堂先生追悼文については、遠藤会長、木村理事、小玉理事、安保理事の4氏で、紙面構成等について協議することとなった。

5) 広報(羽鳥理事)

- ・ニューズレター No.20の原稿は第20回学術集会参加者に依頼しており、11月に原稿が届く予定であると報告された。
- ・ホームページに第20回大会の様子および、日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成(2018年度)が千葉柗作氏に決定したことを掲載すると報告された。
- ・委員会メンバーと連携を図り、ホームページの掲載記事順序を見直すなど積極的に広報活動を行うことが報告された。

6) その他

- ・会員の逝去に伴う学会の対応についての申し合わせについて、次回の常任理事会で検討する。

次回常任理事会：2018年12月22日(土)15:00～
日本赤十字看護大学

第7期 第10回常任理事会議事録

期 日：2018年12月22日(土)15:00～17:35

場 所：日本赤十字看護大学 共同研究室2

出席者：遠藤公久, 清水裕子*, 安保英勇*, 羽鳥
健司, 片山富美代, 梅村美代志

(*スカイプによる出席)

欠席者：木村登紀子

陪席者：大場良子

議 長：遠藤公久

書 記：片山富美代, 梅村美代志

議事

1. 議事録の確認

第9回常任理事会議事録案は一箇所を修正し、承認された。

会 報

2. 会員の異動について（遠藤会長）

入会者1名について承認された。現会員数258名である。

3. 審議事項

1) 学術委員会事項（清水理事）

学術集会第21回大会関係について

以下の点が報告され、承認された。研修関連事項は、後段研修事項に一括する。

(1) 大会名称は「日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第21回大会」とすることが承認された。研修会の名称は審議の結果、「日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第21回大会・研修会」とすることに決定した。

(2) 大会・研修会に向けた運営日程は、下記のとおり修正された。口頭発表については、発表者の人数により時間を調整することも考えた方がよいとの意見があった。

6月15日（土）

研修会 13:00～16:30

ラウンドテーブル（審議事項2）を参照）

16:30～18:00

常任理事会 18:00～20:00

(3) 発表のための入会申し込みがあった場合の対応について以下のことが確認された。まず、事務局事務局で仮入会として入会を承認し、大会前日までに入会手続きが完了しているかを確認したのち、最終的に常任理事会で入会を承認する。

2) 第21回大会ミニシンポジウムについて（清水理事）

学術委員会企画「ヒューマンケアとスピリチュアルケア」（仮）」の開催について審議され、研修会の後にラウンドテーブルの形で行うことが審議され、決定した。開催時間は16:30～18:00（90分）とする。

3) 第21回総会議長について（清水理事）

第20回大会長の菅佐和子先生は体調不良により不参加となる。議長は理事に依頼することで承認された。学術委員長清水理事より、伊藤まゆみ理事に依頼する。

4) 研修委員会事項（木村理事 代大場理事）

学術集会第21回大会・研修会について

以下の事項が報告され、承認された。

(1) 研修会の情報については、大場理事が案を作成し、講師の承認を得る。

(2) 研修会テーマは、現段階では「（仮）問題解決型ディスカッション手法を学ぶ」である。ポスター等で広告をする必要があるため、研修会テーマを仮から確定テーマとするため講師に早急に確認する。

(3) 研修会スケジュールは、受付開始を13:00～とし、開始から閉会式、受講修了証書の配布まですべてを含めて14:00～16:30とするように修正された。

(4) 研修会予定人数は、講師が演習を行うため最大48名とする。

(5) 研修会の参加は、「研修会のみ参加も可」として、会員の有無を問わず先着順とする。

(6) 研修会参加費は、3,000円とする。予算は、研修会参加費、研修会参加人数、講師謝礼等を見直し、再度作成する。

(7) 当日の役割については、司会進行・講師紹介は研修委員長木村理事、講師接待・会場と運営の確認は研修委員大場理事、受付は研修委員三田村理事の予定である。学会事務局（片山理事、梅村理事）が、当日対応のサポートを行う。

(8) ポスターは名称、期日、参加費等の修正を行い、2019年1月23日までに学会事務局に届くように手配する。

会 報

5) 日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成(2019年度)について(清水理事)

募集要項の「7. 応募方法」について、「ダウンロード可能な環境にない方は、以下10の学会事務局にメールで必要書類を依頼し、電子ファイルでお受け取り下さい。」を追加すること、「8. 募集締切」を「8. 募集期間」とし、2019年4月1日(月)～4月26日(金)(17:00必着)」と修正することで、承認された。

6) 会員の逝去に伴う学会の対応について(遠藤会長)

学会としては、現役を含めた理事、理事・会長経験者には弔電を送るようになりたいと考えている。正式な内容は次回の常任理事会で検討する。

4. 報告事項

1) 会長・事務局

学術集会第20回大会会計報告が提出された。学術委員会委員長清水理事より、研修会と大会会計を別にするように提案があった。第20回大会事務局から、日本健康心理学会との合同開催であることなどから別会計とすることが難しいと説明を受けており、この場では判断ができないことから、次回常任理事会までに会計報告について再度検討することになった。また、これに関連して、研修会の参加人数を確認して報告することになった。

2) 学術委員会

第21回大会について、以下の点が報告された。

- (1) 大会と研修会の分担については、資料の通りである。第21回大会準備委員会事務局長萩原氏と、研修委員会委員長の木村理事、大場理事が連絡して行う。
- (2) 発表論文集の名称は、「大会プログラム・抄録集」とする。

(3) 研修会・大会、懇親会の参加受付は、すべて指定の URL から専用申し込みフォームに記入して送信できるようにする。

(4) 一般演題・自主企画シンポジウム・ワークショップ発表申し込み受付は、指定の URL から専用申し込みフォームに記入して送信できるようにする。

(5) 自主企画シンポジウム・ワークショップは(若手優先で)公募し、申し込みがなくても締切りの延長はしないことを明記する。

(6) 優秀発表賞審査書類については、学術委員会で対応する。副賞、表彰状は大会準備委員会で準備する。

(7) 抄録の査読については、長田先生に一任する。

(8) 座長の選任については、長田先生に一任する。

(9) 学会 HP 上で告知を行う。

(10) 第1号通信は、2019/1/23までに学会本部に届くようにし、機関誌郵送便に同封する。

(11) 大会関連のニューズレターの原稿については、学術委員会が確認する。

3) 研修委員会

学術集会第21回大会・研修会について以下の点が報告された。

(1) 開催日は、2019年6月15日(土曜日)である。

(2) 場所は、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)・SY101ホールである。

(3) 講師は、鹿島真弓先生に依頼する。

(4) 研修概要については、最終案を現在講師に確認中である。

(5) 参加申し込み方法は、大会事務局にて一括申し込み受付とし、大会事務局が登録者名簿を管理する。

(6) 問い合わせ先は、研修会専用アドレスを作成する。

(7) 会場準備は、大会事務局と相談しながら木村理事を窓口として連絡していく。

会 報

- (8) 研修会準備物品については、大会事務局と連携を図りながら準備をする。
- (9) 研修会の会計収支管理は研修委員会が行う。
- (10) 研修会ポスターを機関誌郵送便に同封する。

4) 編集委員会(安保理事)

- ・ヒューマン・ケア研究第19巻1号は2019年1月17日納品予定であることが報告された。
- ・ヒューマン・ケア研究第19巻2号について、配付資料をもとに編集状況と掲載(予定)の説明がなされ、2019年1月下旬が入稿予定であると報告された。

5) 広報委員会(羽鳥理事)

- ・配付資料をもとにHC ニュースレター No.20の進捗状況が報告された。
- ・編集委員長安保理事よりヒューマン・ケア研究第18巻1号、2号のPDFを学会ホームページに掲載するよう依頼があった。

6) その他

- ・学会事務局が使用しているパソコンはシステム上、大学からのサポートが得られない旧型であるため、新規購入予定であることが報告された。
- ・2019年1月23日頃に会報の送付作業を行う。同封される資料は、①会報19-1、②第21回大会1号通信、③21回大会ポスター、④研修会ポスター、⑤研究助成(2019年度)募集要項である。封入量が多いため、作業を補助する人員が必要であると報告された。

次回開催予定

日時：未定 場所：日本赤十字看護大学

第7期 第11回常任理事会議事録(案)

期 日：2019年3月3日(日)13:00～16:30

場 所：日本赤十字看護大学 共同研究室1
出席者：遠藤公久、木村登紀子、清水裕子*、安保
英勇*、羽鳥健司、片山富美代
(*スカイプによる出席)

欠席者：梅村美代志

議 長：遠藤公久

書 記：片山富美代

議事

1. 議事録の確認

第10回常任理事会議事録案は承認された。

2. 会員の異動について(遠藤会長)

退会者7名について承認された。現会員数251名である。入会予定者が1名あることが報告された。

3. 審議事項

1) 第8期役員選挙管理委員会について(遠藤会長)

選挙管理委員は羽鳥理事、梅村理事、石村会員の3名、選挙管理委員長は羽鳥理事が推薦された。梅村理事、石村会員については、羽鳥理事より就任の了解を得ることとなった。次回常任理事会までに選挙日程(案)を作成し、委員会および日程について、次回の理事会で承認を得ることになった。

2) 学会論文賞審査委員会について(遠藤会長)

2020年度の学会論文賞審査委員会を2019年度に設置する必要があることから、審査委員について審議がされた。審査委員長は、学会論文賞贈呈に関する内規に基づき、安保理事(編集委員長)とし、その他の委員4名については安保理事が案を考え、次回の理事会で承認を得ることとなった。

3) 会則と役員選挙規程の解釈について(遠藤会長・片山事務局長)

第8期役員選挙に先立って、会則および役員選

会 報

挙規程の内容に関する解釈を常任理事会内で統一するために確認した。

4) 第7期第4回理事会, 第21回総会次第および資料について(片山事務局長)

(1) 理事会次第案と総会次第案については以下の点が修正され, 承認された。理事会次第では, 「第8期役員選挙について」は審議事項とする。「第8期役員選挙について」と「第4回学会論文賞審査について」の担当者に遠藤会長を追加する。また, 理事会・総会次第の「日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成について」の報告は, 2018年度の結果報告を追加する。

(2) 2018年度事業報告, 2019年度事業計画, 2020年度事業計画案については, 担当部分の確認をし, 修正があれば事務局長に連絡することとなった。

(3) 2019年度修正予算書については, 役員選挙に伴い郵送費を4万円, ノートパソコン購入のため消耗品費を20万円追加することが説明され, 承認された。2020年度予算書案については, 3年に1度の学会論文賞副賞を3万円が加えられていること, 事務局移転に伴う費用として5万円アップの25万円としたことが説明され, 承認された。

5) 総会の議長について(遠藤会長)

総会の議長は前大会委員長が担当しているが, 次回総会に菅先生が出席できないことから, 議長は理事会出席者の中から選ぶことが決定した。

6) 会員の逝去に伴う学会の対応について(遠藤会長)

資料案についてタイトル, 目的, 弔意金等などについて修正案が出され, 修正案については次回検討する。

7) 大会および研修会の会計等の報告について(遠藤会長)

「申し合わせ案」について説明があり, 記述を一部修正し, 承認された。

8) 学術集会第20回大会会計報告について(遠藤会長)

「大会および研修会の会計等の報告について」の決定を受けて, 第20回大会の会計報告は機関紙に掲載しないこととなった。

9) その他(遠藤会長)

「日本学術振興会賞」受賞候補者推薦について依頼がきており, 学会からの推薦者について検討した結果, 今回は推薦者なしということとなった。

4. 報告事項

1) 会長・事務局

現在, 事務局で使用しているパソコンが古くなったため, 来年度の予算でノートパソコンの購入をすることが報告された。

2) 学術委員会(清水理事)

・学術集会第21回大会について, 現在のところ申込者はゼロであることが報告され, 会長名で理事に向けて参加・発表に関してお願いするメールを送ることとなった。

・学術集会第21回大会の抄録集のラウンドテーブルの内容をまとめていることが報告された。

・学術集会第22回大会について, ①テーマは睡眠を考えている, ②開催期日は7月または9月頃を考えているが未定である, ③場所は広島国際大学で行うが使用キャンパスについては未定であることが報告された。安保理事より, 6月開催となった場合には, 学会論文賞審査の時間が取れないとの懸念が示された。

会 報

3) 研修委員会(木村理事)

- ・第20回大会の研修会出席者の人数を確認中であることが報告された。
- ・2020年度(第22回大会)の研修会については、学術委員会と相談しながら行うことが報告された。

4) 編集委員会(安保理事)

- ・資料をもとに編集状況と掲載(予定)の説明があった。ヒューマン・ケア研究第20巻1号については2件の採択が決定している。
- ・ヒューマン・ケア研究第19巻2号は3月20日納品予定であることが報告された。
- ・HC研究掲載論文の書籍への転載について問い合わせがあったとの報告があった。著作権は学会にあることから、申請書を含む手続き方法について編集委員会で案を作成し、次回検討することになった。

5) 広報委員会(羽鳥理事)

- ・配付資料をもとにHCニューズレターNo.20の進捗状況が報告された。4ページ目の編集委員会の記事、IDとパスワード、編集後記を修正する。
- ・ヒューマン・ケア研究第18巻1号、2号のPDFを学会ホームページに掲載したことが報告された。

次回：2019年6月15日(土) 18:00～20:00

桜美林大学四谷キャンパス「201号室」

第7期 第12回常任理事会議事録

期 日：2019年6月15日(土) 18:20～19:50

場 所：桜美林大学四谷キャンパス「201号教室」

出席者：遠藤公久、清水裕子、木村登紀子、羽鳥健司、片山富美代、梅村美代志

欠席者：安英英勇

議 長：遠藤公久

書 記：片山富美代、梅村美代志

議事

1. 第21回大会委員長あいさつ(長田第21回大会委員長)

長田第21回大会委員長より学術集会開催にあたって挨拶があった。

2. 第22回大会について(清水理事、山崎第22回大会準備委員長)

担当理事の紹介の後、資料に基づき、山崎第22回大会準備委員長から学術集会テーマを『ヒューマン・ケアから考えるしあわせ』とし、準備が進められている旨の説明が行われた。

3. 議事録の確認

第7期第11回常任理事会議事録(案)およびメール会議議事録(案)は、承認された。

4. 会員の異動について(遠藤会長)

入会者8名、退会者6名について、入会者2名について入会申込書に不備があるため一部修正を行うことで承認された。現会員数は253名である。

5. 審議事項

1) 第8期役員選挙について(羽鳥選挙管理委員長)

次期役員選挙の日程案が出され、審議した結果、開票・集計作業までの日程は以下のように進められることが決定した。これ以降の日程および、互選理事への就任の同意に関する手続きに関しては、次回常任理事会で追加審議を行うこととなった。

・選挙日程の公示(選挙公報)、有権者名簿の公示：

2019年10月28日

・有権者名簿の異議申し立て締切：2019年11月4日

会 報

- 日(月)
- ・有権者名簿, 投票用紙などの送付: 2019年11月期日未定(後日作業日を決定する)
 - ・投票締め切り(当日消印有効): 2019年12月2日(月)
 - ・開票・集計作業(日本赤十字看護大学): 2019年12月8日(日)
- 2) 会員選挙に伴う学会の弔意に関する内規について(遠藤会長)
一部を修正し, 承認された。
- 3) 日本ヒューマン・ケア心理学会転載許可願・許可証について(安保理事代片山事務局長)
転載許可証に発行番号(通し番号)を追加し, 管理していくことで承認された。
- 4) 研究助成経理担当者について(遠藤会長, 片山事務局長)
研究助成金の管理は, 研究のための公金であり公平に審査を行い, 研究用公金口座を確認することが必要であるため, 申請書の内容の審査, 決算書の受取までの過程として学術委員会で厳正に対応していくことが確認された。
- 5) 2018年度決算報告書と会計監査について(梅村事務局長次長)
決算報告書は, 資料の通り, 承認された。
会計監査は, 日本ヒューマン・ケア心理学会会則の第10条の規定に基づき, 2019年6月8日に監査が行われ, 学会の会計は適正に執行されていることが監事によって確認されたことが報告された。
- 6) 2019年度修正予算書(案)と2020年度予算書(案)について(梅村事務局長次長)
資料の通り, 承認された。
- 7) 理事会次第(案)と資料について(遠藤会長, 片山事務局長, 梅村事務局長次長)
資料の通り, 承認された。
- 8) 総会次第(案)について(遠藤会長)
資料の通り, 承認された。
- 9) その他
特記事項なし
6. 報告事項
- 1) 会長・事務局(片山事務局長)
理事会について, 理事13名出席, 7名欠席(7名の委任状あり), 監事1名出席であることが報告された。
- 2) 学術委員会(清水理事)
日本ヒューマン・ケア心理学会研究助成(2019年度)の審査経過と結果について資料の通り報告された。
- 3) 研修委員会(木村理事)
今回の研修会は, 日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第22回大会・研修会準備委員長の山崎理事と相談し, 決定していくことが報告された。
- 4) 編集委員会(安保理事代片山事務局長)
資料に基づき, ヒューマン・ケア研究の編集状況, 発行状況が報告された。
転載許可願が1通出され, 「転載許可証」が発行されたことが報告された。
- 5) 公報委員会
HCニューズレター No.21企画書が提出され, 一部執筆予定者が報告された。残りの執筆者については大会中に依頼することが報告された。

会 報

6)その他

特記事項なし

次回常任理事会：2019年9月1日（日）13：00～

日本赤十字看護大学

会報

第7期役員・委員会構成員名簿

役職	氏名	所属	委員会所属
顧問			
会長	遠藤 公久	日本赤十字看護大学	
常任理事	片山 富美代	桐蔭横浜大学	学会事務局長
理事	梅村 美代志	聖徳大学	学会事務局次長
常任理事	清水 裕子*	香川大学	学術委員長
理事	小玉 正博	埼玉学園大学	学術委員
理事	菅 佐和子	京都橘大学	学術委員
理事	中込 さと子	信州大学	学術委員
常任理事	木村 登紀子	いちかわ野の花心理臨床研究所	研修委員長
理事	大場 良子	埼玉県立大学	研修委員
理事	長田 久雄	桜美林大学大学院	研修委員
理事	三田村 啓子	元 京都医健専門学校	研修委員
常任理事	安保 英勇	東北大学	編集委員長
理事	伊藤 まゆみ	目白大学	編集委員
理事	伊藤 美奈子	奈良女子大学	編集委員
理事	佐居 由美	聖路加国際大学	編集委員
理事	竹田 真理子	和歌山大学	編集委員
理事	山崎 登志子	広島国際大学	編集委員
常任理事	羽鳥 健司	埼玉学園大学	広報委員長
理事	石川 智	杏林大学	広報委員
理事	関谷 大輝	東京成徳大学	広報委員
監事	島井 哲志	関西福祉科学大学	
監事	中村 恵子**	東北福祉大学	

*: 男女共同参画推進担当 **: 2018年6月11日より
(改正日: 2019年4月1日)

日本ヒューマン・ケア心理学会役員選挙規程

- 第1条 日本ヒューマン・ケア心理学会会則第11条に定める役員選挙等を適正に実施するために、この規程を定める。
- 第2条 日本ヒューマン・ケア心理学会の役員選挙の管理業務は当該選挙の事由が発生する3ヶ月以前を基準として、当該時の本学会理事会が選挙管理委員会（以下、委員会という）を組織してこれを行う。
- 2 委員会は、3名の委員によって構成され、その代表責任として選挙管理委員長を定めなければならない。
- 3 委員会の事務は、学会事務局が担当する。
- 第3条 理事の定員は当分の間正会員の互選による理事（以下、互選理事という）10名及び会長指名による理事（以下、指名理事という）10名とする。
- 2 常任理事の定員は当分の間、若干名とする。
- 第4条 委員会は以下の業務を行う。
- (イ) 選挙実施日程の確定と公示
当該選挙のための委員会が成立した日より6ヶ月以内に選挙実施日程と実施手続きに関する計画書を作成し、これを公示する。
- (ロ) 選挙台帳の作成と公示
選挙台帳は役員改選年の11月1日の会員名簿により作成し、第6条による指定日の1か月以前に公示するものとする。ただし、会費未納者は選挙台帳から削除する。
- (ハ) 選挙の実施と開票結果の確定
本規定第6条により厳正な選挙を実施する。開票結果の確定は第8条によりこれを行う。
開票に際して会員の任意な立ち会いを認めるが、会場の都合により人数を制限することがある。
- (ニ) 選挙結果の報告
委員会は開票業務の終了後、その結果を常任理事会に報告する。
- (ホ) その他選挙を厳正かつ円滑に行うのに必要と思われる業務を行う。
- 第5条 選挙権及び被選挙権は選挙台帳に記載される個人に与えられる。
- 2 選挙台帳の作成される所定期日に海外に居住するものは選挙権及び被選挙権を有しない。
- 第6条 選挙は選挙台帳記載会員の互選により無記名投票とする。投票は所定の投票用紙を用いる郵便投票とし、指定の日付までの消印のあるものをもって有効とする。その他無効となる投票内容は委員会の定めるところによる。
- 第7条 投票は互選理事については3名連記とし、監事については単記とする。
- 第8条 当選者の確定は得票順による。ただし、次の場合はこの限りではない。
- (イ) 同点者の生じた場合は抽選によって決める。
- (ロ) 欠員の生じた場合は次点者をもって補う。ただし、次回改選期日の1年以前に限り適用する。
- (ハ) 前項によって選出された者の任期は、前任者の残りの期間とする。
- (ニ) 理事及び監事の双方に当選した場合は、理事の当選を優先し、監事は次点者をもってあてる。
- 第9条 会長指名のための選挙は互選理事により無記名の投票で行う。ただし、同点者の場合は抽選によ

会 報

て決める。

- 2 欠員の生じた場合は、次点者をもって補う。
- 3 前項によって選出された者の任期は、前任者の残りの期間とする。

第10条 指名理事は、ヒューマン・ケア心理学領域における顕著な業績あるいは日本ヒューマン・ケア心理学会への貢献度等に基づいて会長が指名する。

第11条 常任理事は互選理事及び指名理事のなかから会長が指名する。

第12条 会長は、会長、常任理事、理事、監事及び事務局長について総会で承認をうるものとする。

第13条 本規定の改正は理事会出席者の3分の2以上の賛成による議決と総会出席者の承認により行われる。

附 則 この規程は、2004年8月26日より施行する。

- 2 この規程は、2010年12月11日に改正し、同日より施行する。
- 3 この規程は、2013年7月6日に改正し、同日より施行する。
- 4 この規程は、2016年9月24日に改正し、同日より施行する。

日本ヒューマン・ケア心理学会論文賞贈呈に関する内規

- 第1条 日本ヒューマン・ケア心理学会(以下、本学会)は、優れた研究業績をあげた個人に対して「日本ヒューマン・ケア心理学会論文賞」(以下、学会論文賞という)を贈るために本内規を定める。
- 第2条 学会論文賞は、第1回を2011年度に、以後3年ごとに、年次総会または学会論文賞贈呈式において、これを表彰して贈る。
- 第3条 学会論文賞は、当分の間、一件につき3万円の副賞を添えてこれを贈る。
- 2 副賞は、経常経費の一部をもって、これに当てる。
- 第4条 学会論文賞を贈るための審査委員会(以下、委員会という)を本学会に設ける。
- 2 委員会は、学会論文賞表彰前年に構成し、理事会の互選によって選ばれた5名の委員によって組織するものとする。
 - 3 審査委員長は、原則として編集委員長がその任にあたる。
 - 4 委員長は、当該年度の総会・学会論文賞贈呈式の開催日の1ヶ月前までに当該年度の表彰者を内定し、所定の書式により、これを会長に報告するものとする。
 - 5 会長は、委員長の報告内容を常任理事会に諮問し、その承認を得て表彰者を決定する。
- 第5条 委員会は、当該年度の学会論文賞候補者(以下、候補者という)の推薦を得るために、理事に別に定める手続きにより候補者の推挙を得なければならない。
- 2 委員会の定める候補者の推薦手続きに関する事項は、原則として以下による。
 - ①学会論文賞候補者は、審査委員会が開催される時点で3年以上本学会会員であること。
 - ②学会論文賞候補者の推薦は、所定の期間に「ヒューマン・ケア研究」に候補者が単独または筆頭著者として発表した原著論文に基づくこと。
 - ③推薦を行う場合は、その理由を明示した推薦書を委員会に提出すること。
 - 3 選考基準については別途定める。
 - 4 委員会は、委員長を議長として審議し、被表彰者の内定は、出席委員の5分の4以上の賛成によりこれを決する。
 - 5 学会論文賞の受賞者は、直近の学術集会において、その成果に関する講演を行うものとする。
- 第6条 委員会の審議内容は、他に口外してはならない。
- 第7条 本内規の改廃は、理事会の審議を経て本学会の会長が行う。
- 附 則 本内規は2010年7月18日より施行する。